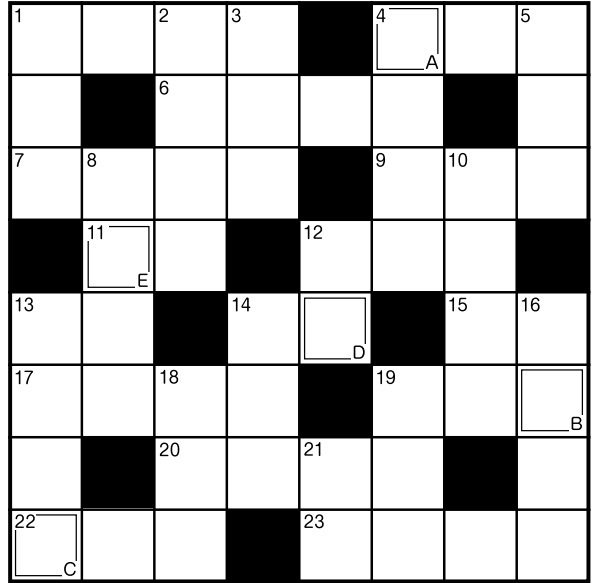


(2025年12月)

ヨコのヒント

- 人類に最も貢献した人に贈られる○○○○賞。今年は、生理学・医学賞と化学賞を日本人が受賞することになりました。
- 花の一部分で、花粉ができる「やく」と、それを支える「花糸」からできています。
- どうしてよいかわからず、困惑する様子。「文化の違いに○○○○が多かった」などと使います。
- 言いたいことを、ほかの人に上手に伝えられないこと。また、そのような人。
- もさっちもいかない。「行き詰まって、どうにも動きが取れない」という意味です。
- 古いものから新しいものになる途中の、安定しない時期。「○○期」といいます。
- 年の瀬に演奏されることの多いベートーベンの交響曲第9番。第4楽章で歌われる「○○○の歌」が有名です。
- 山や森にすむ大きな哺乳類。ハチミツや木の実が大好きで、冬は長い眠りにつきます。
- 長野県の鉢盛山から流れ出し、岐阜県、愛知県、三重県を流れて伊勢湾に注ぐ○○川。
- 父の母、または母の母は「祖母」。では、父の父、または母の父は？
- 胸の部分の内臓をおおう骨。
- 地球温暖化対策としても注目されている○○○エタノール。トウモロコシやサトウキビなどの植物を原料としてつくられるアルコール燃料です。
- ほかよりもはるかに優れていること。「○○○○した才能」などと使います。
- 過去→現在→○○○。
- うまくいく方法。都合の良いやり方。「基礎固めが不十分な段階で、難しい問題に手を出すのは○○○○ではない」などと使います。



【答え】

A	B	C	D	E

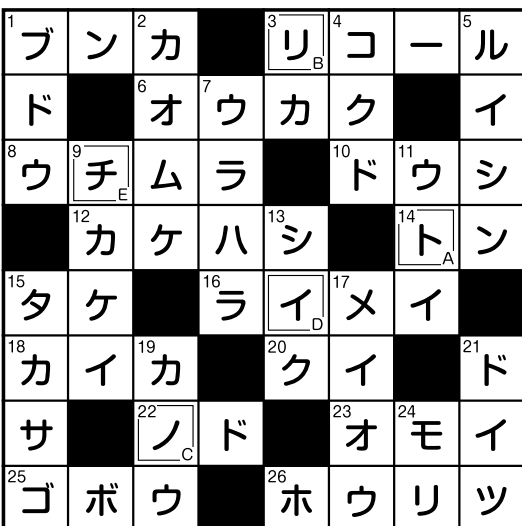
- コン、コン、コン。部屋に入る時の合図。
- 粘りつく様子。「ハチミツをこぼして、机が○○○○になった」などと使います。
- 「殿」や「段」などの漢字のつくり「文」。「ほこづくり」あるいは「○○○」といえます。
- 15世紀後半、細川氏と山名氏の権力争いに、足利義政の後継者問題などがからんで起こった○○○○の乱。11年間も続きました。
- 公園などにある、木や石などでできている長いす。
- 門左衛門は元禄文化を代表する人形浄瑠璃の脚本家。代表作は『曾根崎心中』。
- 付きつ切りで世話をしたり、同行したりすること。また、その人口が減って住む人が少なくなり、地域の活気が失われていく現象のこと。
- 「長からむ心も知らず ○○○○の乱れてけさは物をこそ思へ」(待賢門院堀河)
- スポーツで、ボールなどを足で蹴ること。「○○○○オフ」から試合が始まります。
- 洋食器の一つ。料理をナイフで切るときに押さえたり、食べ物を口に運んだりするのに使います。
- 物質の三態。気体と液体、もう一つは？
- 英語で「後ろに下がること」。
- する車には気をつけてください。
- 来年の○○は「午」です。

タテのヒント

前月号の解答と解説

【答え】

A	B	C	D	E
ト	リ	ノ	イ	チ



★酉の市

秋になると、その年の収穫を神さまに感謝するお祭りが全国の神社などで行われます。さらに秋が深まり、新しい年が近づく11月になると、今度は翌年の商売繁盛や開運を願うお祭りが開かれます。江戸時代に始まった酉の市もその一つ。「酉」は、子（ネズミ）、丑（ウシ）、寅（トラ）など十二支に数えられる10番目の動物（ニワトリ）で、昔の暦では年や月・日を表すのに用いられていました。

今年の11月は、12日と24日が「酉の日」に当たり、それぞれ「一の酉」「二の酉」と呼ばれます。首都圏では、東京・浅草の鷺神社、新宿の花園神社、府中市の大國魂神社などで盛大に開催されます。

当日は、縁起物の熊手を求める人でにぎわいます。熊手はもともと落ち葉などを集める農具ですが、その形から「福をかき集める」とされ、酉の市では打ち出の小槌や招き猫、宝船などをあしらった装飾熊手が数多く並びます。お店の前では、熊手が売れるたびに「商売繁盛！」と威勢の良い掛け声が響き、続いて「パバパン、パバパン、パバパンパン」と手締め音が景気よく鳴り響きます。

ヨコ

- 文化（ぶんか）
- 雷鳴（らいめい）
- リコール
- 開化（かいか）
- 横隔（おうかく）
- 悔い（くい）
- 内村（うちむら）
- 動詞（どうし）
- 架け橋（かけはし）
- トン
- 竹（たけ）
- 思い
- ごぼう
- 法律（ほうりつ）

タテ

- ブドウ
- 顔向け（かおもむけ）
- 李下（りか）
- 国土（こくど）
- 累進（るいしん）
- 裏腹（うらはら）
- 地下茎（ちかけい）
- 疎い（うとい）
- 飼育（しいく）
- 高砂（たかさご）
- 冥王（めいおう）
- 狩野（かのう）
- ドイツ
- 森（もり）